

# KYOTO KAMMER ORCHESTER



8 2014  
SUN 31

13:30 開場 14:00 開演

京都市西文化会館ウエスティ  
京都府京都市西京区上桂森下町31-1

## 京都室内 オーケストラ コンサート

上村淳之（京都市立芸術大学名誉教授・元副学長・京都市学校歴史博物館館長  
日本画家・日本芸術院会員）によるトーク

「プログラム」

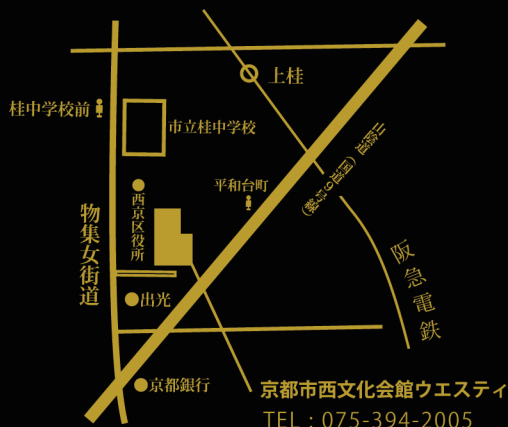
モーツァルト ディベルティメント ヘ長調  
Mozart: Divertimento in F major, K.138

レスピーギ リュートのための古風な舞曲とアリア 第三組曲  
Respighi: Antiche danze ed arie per liuto Suite No.3

グリーグ 二つの悲しい旋律  
Grieg: 2 Elegiac Melodies Op.34

チャイコフスキー 弦楽セレナーデ  
Tchaikovsky: Serenade for Strings Op. 48

「地図」



料金 当日 2500 円 / 前売り 2000 円

主催 京都室内オーケストラコンサート実行委員会

協力 京都市立芸術大学キャリアアップセンター

後援 京都市立芸術大学音楽学部同窓会 真声会  
京都・堀音同窓会

連絡先 TEL: 080-8307-4019 (事務局)

kyotokammerorchester2014@gmail.com

※未就学児の入場はお断りします

# 京都室内オーケストラとは？

2002年、京都市立芸術大学音楽学部創立50周年を記念して行われたドイツ公演を機に結成された弦楽アンサンブル。音楽学部の特別講師として弦楽オーケストラを指導し、学生達の能力を高く評価した Jörg-Wolfgang Jahn 氏(前カールスルーエ音楽大学教授)の招聘により「ヴァインガルテン若い芸術家による音楽週間」に参加。指揮者をおかないアンサンブルの精緻な合奏技術、若々しく伸び伸びとした音楽性、又、1曲ごとにコンサートリーダー以下編成が変わる演奏形態等によって高い評価を受け、2005年にも再び「音楽週間」に参加。青山財団より「2004年度バロックザール賞」を受賞。現在、各メンバーは国内外で、ソロ、室内楽、オーケストラの分野で活動中。



団長

上村 淳之

京都市立芸術大学名誉教授・元副学長  
京都市学校歴史博物館館長・日本画家  
日本芸術院会員

音楽監督

岸邊百百雄

Jörg-Wolfgang Jahn



膳 ルミ子(ヴァイオリン)

京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師。草津チェンバーオーケストラコンサートミストレス。この他に、室内楽、オーケストラ、作曲家やバンド等のCD・DVD制作、ライブ出演、CM、映画音楽等、様々な演奏活動を展開している。



山下 陽子(ヴァイオリン)

卒業後、ドイツリュベック音楽大学にて修士課程修了。帰国後は、室内楽を中心に教会や保育園やカフェなど、様々な場所で演奏活動を行っている。響ホール室内合奏団員。



永久 真里恵(ヴィオラ)

2007-2013年、大阪交響楽団ヴィオラ奏者。2011年アフィニス夏の音楽祭に参加。現在はフリーランスのヴィオラ奏者として演奏活動の傍ら後進の指導を行う。大阪音楽大学付属音楽院講師。



溝渕 そよか(ヴァイオリン)

卒業後、ドイツ国立マンハイム音楽大学芸術家育成課程を最優秀で卒業。同大学オーケストラソリストコース修了。ハイデルベルク市立歌劇場オーケストラにて研鑽を積む。現在は関西を中心に活動中。大阪音楽大学付属音楽院講師。



杉中 景子(ヴィオラ)

卒業後、渡独。カールスルーエ音楽大学ヴィオラ専攻および室内楽科卒業。シュトゥットガルト州立歌劇場、シュトゥットガルトフィルの研修生を修了後、2014年夏までプファルツ歌劇場の契約団員を務める。ドイツ在住。



田村 美佳(チェロ)

卒業後、渡独。ドイツ・フライブルク音楽大学ディプロム課程終了。ヨーロッパ各地と日本双方で幅広い演奏活動を行う傍ら、南シュヴァルツヴァルト音楽学校、市立オフエンブルグ音楽学校にて後進の指導にもあたる。現在、フライブルク在住。



阪中 美幸(ヴァイオリン)

大阪府出身。小学時よりオーケストラに慣れ親しみ、多数のヨーロッパ演奏旅行やセミナーの機会に恵まれる。大学を首席で卒業後は、ジャンルを超え関西拠点で活動中。ヨーロッパと音楽と港とおいしいものが大好き。



水野 絵里子(ヴァイオリン)

2002年和歌山音楽コンクール大学生以上の部奨励賞受賞。2008年ブラハサマーアカデミーでディプロマを取得しファイナルコンサートに出演。現在ソロ、室内楽、オーケストラで活動中。



吉平 大作(コントラバス)

卒業後、デトモルト音楽大学を卒業。ミュンスター市立歌劇場、NDRハノーファー北ドイツ放送フィル等で研鑽を積む。楽弓愛好家であり、ドイツのオールド弓を中心に多数所持している。また、新作の弓についても若手の製作家とともに、改良を目指し協議を続けている。



崎元 蘭奈(チェロ)

健康オタクで2年間のベジタリアンダイエットを解禁して、やはり音楽家として演奏するには肉の摂取が必要だと改めて実感。パワフルで大胆な音かつ、繊細な女性らしい音色の表現を目指しています。



濱名 まり絵(ヴァイオリン)

卒業後、相愛大学にて音楽専攻科修了。京都フランスアカデミーにてジャン=ピエール・ヴァレーズのマスタークラスを受講。現在は、ソロや室内楽、オーケストラで演奏活動を行う傍ら後進の指導にもあたる。桜ヴァイオリンアカデミー主催。



池村 明子(ヴィオラ)

ハンガリー国立リスト音楽院に留学する傍ら定期的にウィーンに通い、ヴァイオリンを学ぶ。2013年、ヴァイオリニサイトを大阪にて開催、好評を博す。現在名古屋フィルハーモニー交響楽団ヴァイオリン奏者。